

稽古を見学していて、館長や支部長の子供目線に立った分かりやすい声掛けや、やる気を引き出す言葉、認める言葉など、いつも勉強させて頂いています。それと先輩の子供たちが、手本となるだけでなく、後輩の手や足の位置など、気配りして具体的に声掛けして下さることに感謝しています。「あんな子に育って欲しい！」母として願わずにおれません。（福岡東支部 H 様）

とても恥ずかしがり屋で引っ込み思案な息子。近所の人から挨拶されても小さな声、話しかけられても頷く事しか出来ない。遊んでいる子供たちの輪に入りたくても出来ない。せめて挨拶は大きな声で、出来れば人より先に自分から言えるように！と思い、体験に行ってみると自分から「やりたい」と。それで入会しました。しばらく経っても声が小さく、もどかしい気持ちでいると「館長から褒められた」と嬉しそうに報告してきた日がありました。次の稽古では少しですが今までより大きな声を出していました。館長から褒められた事で自信が持てたのでしょうか。今後も息子の成長を楽しみながら見守って行こうと思います。（福岡南支部 M 様）

子供が小学校の校門でもらった一枚の空手募集の紙を私に見せ、「行きたい！」と自分から話してきました。体験がとても楽しかったようで、すぐ入会させて頂きました。今では自分で道着にアイロンを掛け、私に「まだ？」と尋ねる程。本当に稽古に行くのが楽しいんだなあと親として嬉しく思っております。空手を通して、自分の想いを相手に伝える事や、人の気持ちが分かる事、強くて優しい人に近づける様に、まだまだ先は長いですが、帯の色と共に肉体的、精神的に於いて少しずつ成長して欲しいと願っております。（小郡支部 Y 様）

私が子供に館長、支部長の御指導下、学んで欲しい事をお話しします。それは挨拶と礼儀です。人間付き合い、社会生活に於いて最低限のルールです。大きな声で堂々と「おはようございます、ありがとうございます、すみませんでした」と言える人になってもらいたいです。（博多支部 H 様）

息子が入会し一ヶ月が経った頃、「見に来て」と息子が言いました。稽古風景やその後の試合の様子など、息子の空手に対する真剣な眼差しを見て、「楽しくやれてるな」という気持ちと「このままだと息子に負けるな」という気持ちが交差し、私も入会してしまいました。今では親子揃って大会での優勝という目標を持っています。（博多支部 K 様）

子供たちの真剣な眼差しが大好きで、毎回稽古を楽しく見学させて頂いています。空手が上手く、強くなって欲しいのは勿論ですが、それよりも蹴りやパンチをしたり、受けたりする事で他人の痛みを知り、戦って負ける悔しさを知り、そして館長の大きな声にも耐えうる？折れない心を培って欲しいと思います。これから社会に出ていくうえでこの「なにくそ精神」は絶対に必要です。（城西支部 I 様）

先日の智心勇輝杯で我が子は初めての試合に挑みました。子供曰く「みんなの力強い声援が聞こえてきて、自分は一人じゃない、頑張ろう」と思ったそうです。結果は残念でしたが、試合や普段の稽古を通して何かを感じ、そして得るものがあれば次への原動力に繋がって行くと思います。（本部 I 様）